



公文書館だよりよこて

2022.1.1
第2号

常設展を開催中

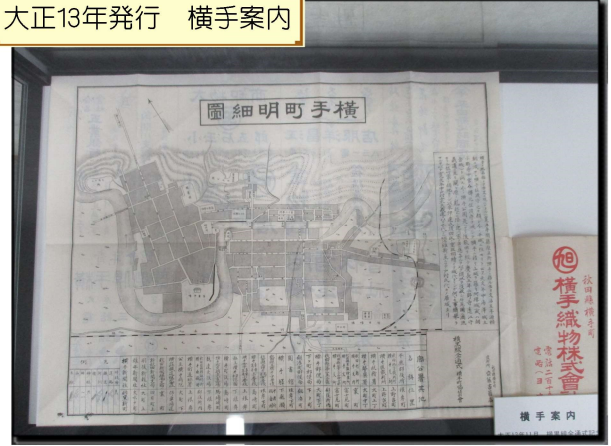
公文書館ホールには当館で保存している明治から昭和にかけての資料を展示しています。明治初期の戸長役場時代の公印や、大正・昭和時代の横手案内なども展示していますのでぜひご覧ください。

戸長役場時代の公印



雄物川町福地公民館に所蔵されていた戸長役場時代の公印です。

大正13年発行 横手案内



大正13年11月の横黒線(現:北上線)全通を記念して作られた【横手案内】です。

公文書館 Q&A

Q 公文書館には現在どれぐらいの資料が保存されてるの？

A 12月1日現在で、11,550点の資料を保存しており、ホームページで目録を公開しています。公文書には保存年限が定められており、年限終了後は原則廃棄されることとなります。しかし、市の歴史を後世に伝えるうえで重要なものについては、公文書館で評価選別して保存しています。



←詳細はこちらから

【保存資料の状況】

令和3年12月1日現在

区分	保存(所蔵)公文書等	目録の公開状況
公文書	10,830	8,989 83%
刊行物	330	143 43%
記録写真・映像	390	156 40%
合計	11,550	9,288 80%

※刊行物は書籍・パンフレット・ポスターなどです。
※記録写真・映像にはレコード・録音テープを含みます。

公文書館だよりの愛称決定

創刊号で募集した公文書館だよりの愛称が『公文書館だより よこて』に決定しました。公文書館をもっと市民の皆様に使っていただきご利用いただけるよう、市報の名称なども考慮し、親しみやすくわかりやすい愛称にしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

利用案内

開館時間

午前9時から午後5時まで
※資料閲覧請求は午後4時30分まで

休館日

日曜日・月曜日・国民の祝日
及び年末年始 (12/29~1/3)

横手市公文書館ではどんな作業をしているの？【補修編】

公文書館の保存資料には、様々な原因により破損しているものがあります。破損状態により補修が必要かどうかを判断し、適切な方法で補修を行っています。

主な補修の方法

- ① とと 綴じひもの綴じ直し → 作業 1
- ② 和紙を使用しての補修 → 作業 2
- ③ 紙クリップの使用 → 作業 3

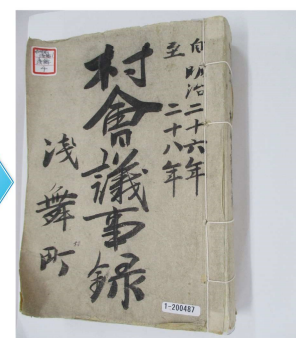


補修に使用する道具類

作業1

綴じひもの綴じ直し

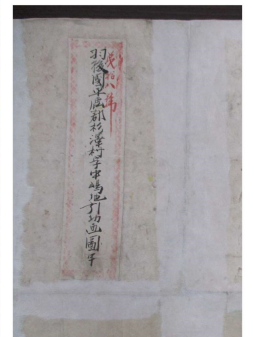
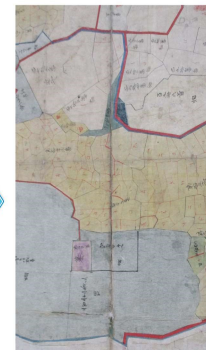
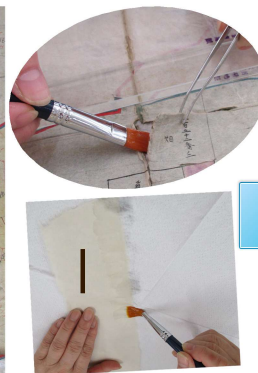
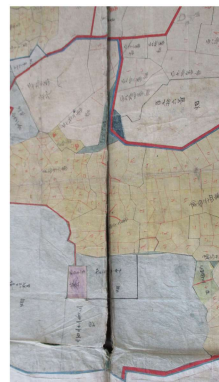
とと
切れた綴じひもは新しいひもを使用し、日本の伝統的な綴じ方である「四つ目綴じ」などの方法で補修します。



作業2

和紙を使用しての補修

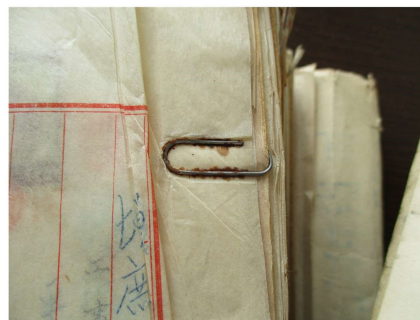
破れた地図や公文書は、破れた部分に和紙を貼って補修します。補修に使用するのりは添加物の入っていないものを使用します。



作業3

さびた金属留具の除去

クリップやピンなどの金属類はさびて文書を汚すので取り除き、紙製のクリップに取り替えます。



※ いずれの方法も漂白等化学的に処理された材料は使いません。